

## 第7回 イノベーション政策強化推進のための有識者会議「バイオ戦略」

1. 日時：令和3年5月28日（金）～5月31日（月）書面開催

### 2. 出席者

（バイオ戦略有識者会議有識者）

座長 永山 治 一般財団法人バイオインダストリー協会代表理事理事長、  
中外製薬株式会社特別顧問・名誉会長  
小林 憲明 キリンホールディングス株式会社取締役常務執行役員  
永井 良三 自治医科大学学長  
藤田 朋宏 株式会社ちとせ研究所代表取締役CEO・京都大学特任教授  
吉澤 尚 弁護士法人漆間総合法律事務所副所長、弁護士・弁理士

（政府関係者）

和泉 洋人 内閣総理大臣補佐官  
別府 充彦 内閣府審議官  
赤石 浩一 科学技術・イノベーション推進事務局長  
柳 孝 科学技術・イノベーション推進事務局統括官  
木村 聡 内閣官房内閣審議官  
覺道 崇文 科学技術・イノベーション推進事務局審議官  
千原 由幸 科学技術・イノベーション推進事務局審議官  
渡辺 その子 内閣府健康・医療戦略推進事務局次長  
山田 栄子 内閣官房情報通信技術（IT）総合戦略室参事官  
渡邊 厚夫 内閣府知的財産戦略推進事務局次長  
一見 勝之 内閣府総合海洋政策推進事務局長  
津垣 修一 消費者庁政策立案総括審議官  
杉野 剛 文部科学省研究振興局長  
佐原 康之 厚生労働省大臣官房危機管理・医務技術総括審議官  
長井 俊彦 農林水産省農林水産技術会議事務局研究総務官  
眞城 英一 林野庁林政部木材産業課長  
山本 和徳 経済産業省商務・サービス政策統括調整官  
東川 直正 国土交通省大臣官房技術審議官  
白石 隆夫 環境省大臣官房審議官

### 3. 議題

(1) バイオ戦略フォローアップ（素案）について

### 4. 公開資料

資料 1 バイオ戦略フォローアップ（素案）（概要）  
資料 2 バイオ戦略フォローアップ（素案）  
資料 3 これまでのバイオ戦略に関する取組状況一覧  
資料 4-1 有識者説明資料（永井氏、吉澤氏）データ戦略の意味

資料 4-2 有識者説明資料（吉澤氏）健康医療情報の諸問題

資料 4-3 有識者説明資料（吉澤氏）バイオデータ戦略とバイオエコノミーと地域からの提言・投資支援環境の整備

## 5. 議事要旨

### (1) バイオ戦略フォローアップ（素案）について

バイオ戦略フォローアップ（素案）について、資料1-資料3に基づき書面にて説明した。

委員より以下のご意見があった。

- これまで、有識者打合せ等で何度か議論になった、バイオベンチャーの活性化・ベンチャーエコシステムの確立に向けた少し具体的な記載が必要に思われる。特に資金調達環境整備としては、これまでのベンチャー支援の取組に加えて、バイオにそれほど馴染みのないVCでも投資に踏み込めるよう、ピアレビューのようなベンチャー企業の適切な評価の仕組みの必要性に触れてはどうか。ただし、まだ議論が不十分で具体化も難しいと思われるので、ベンチャーキャピタル等からの資金調達促進に向け、バイオベンチャーの実力を適切に評価する仕組み（ピアレビュー）や、ビジネス展開に向けた人材教育支援などの仕組みが必要、今後有識者会議を中心に方向性を見出していく、というような表現でもよいのではと思っている。
- 「バイオ医薬品の開発・生産体制の強化【調整中】」の中身について、国産ワクチン・国産医薬品（いずれも海外企業からの技術移転による国内製造含む）の重要性、具体的な取組の記載が必要に思う。本文のみならず概要にもコンパクトな形で記載が必要かと思う。
- 本編の資料に関して特に修正意見はない。重要なのはこの後の具体化へ向けた実行策のところ。SIPやPRISMのテーマを見ていて心配なのは、アカデミアや国研ほか応募者の個人的興味や視点での具体策や取組テーマになっているところが多く見られる。本来であれば、バイオ戦略で定めた9つの各市場に対し、各技術クラスタ単位で市場性・知財力を評価し、2次元マッピングの上、技術特性に合った戦略オプションを検討し、かつバリューチェーン分析による日本の現時点での強みと弱みを評価し、バイオ戦略と重ね合わせて投資する市場・用途を検討した上で、具体的なテーマの応募を図らないと無駄な投資が増えると思う。これはコミュニティ形成についても同じことだと思う。大事なところなので、外部機関を使ってお金をかけても一度作成してはどうか。
- 国産ワクチン関連は、ワクチン開発を具体的に国がどこまでしっかり継続するかがポイントと思う。ワクチンは平時ではビジネスになりにくい領域であり、開発費の割にはリターンが読めない、リスクを伴う。コロナワクチンも結局は、軍事費によりテロや戦場での一時使用を想定して開発していた技術が今回生きたわけで国の一定の継続的投資なくしてはできないだろう。どこかで民間にバトンを渡すような気持ちがあると続かないと思う。